

指摘事項および対応

第12回 草津市総合計画策定委員会 幹事会

開催日 令和2年 2月21日（金）

(1) 将来ビジョンについて

主な意見等

- ・過去の総合計画の将来ビジョンでは、元気創造都市の単語を使ってはいないのか。
⇒元気創造都市は使っていない。
- ・将来ビジョンのキャッチフレーズはこれで確定か。
⇒確定ではない。第5次草津市総合計画の策定の際にも、将来ビジョンのキャッチフレーズの案を示してから、議会や審議会等での意見を踏まえ修正している。
- ・今後、将来ビジョンのキャッチフレーズを使っていくにあたって、もう少し短い方が良いように思う。
- ・将来ビジョンのキャッチフレーズについて、副題と順番を入れ替えてもよいのではないか。

(2) 将来のまちの構造について

主な意見等

- ・特になし

(3) まちづくりの基本目標について

主な意見等

- ・将来ビジョンの実現に向けて、「協働」と「SDGs」の視点を踏まえるとされているが、「健幸」の視点も必要ではないか。
⇒「健幸」については、将来ビジョンの「ひとのつながり」などで「健幸」の理念を含めている。また、また、基本計画のリーディング・プロジェクトとして位置付けができないか検討している。

(4) 第1期基本計画の体系（案）について

主な意見等

- ・すべての分野や基本方針をきれいに分類しきれないと思うが、できる限り、総計の体系と組織が揃っている方がよいと思う。

《裏面につづく》

主な意見等

・地域再生、ひきこもり対策の施策などが十分に反映されていないのではないか。

⇒基本方針「まちなかの魅力向上」を「まちなかの魅力向上と地域再生の推進」に変更する。

⇒ひきこもり対策については、分野「生活安心・防犯」の基本方針「生活安定への支援」を分野「地域福祉」に移し、その中で対応を検討する。

・「ひと・まち・とき」で基本目標と分野をグループ分けする必要があるのか。「とき」はすべてにわたるのではないか。

⇒「ひと・まち・とき」がすべてにわたるように修正しました。